



2025年3月期 第3四半期

決算補足説明資料

株式会社海帆

証券コード：3133

2025年2月14日



目次

I	会社概要 p.2
II	2025年3月期 第2四半期決算概況 p.6
III	計画の進捗状況 p.19

I . 会社概要

会社概要

会社名	株式会社海帆（かいはん）
所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号 名古屋総合市場ビル
連絡先	TEL 052-586-2666
創立	2003年5月
代表	守田 直貴
資本金	2,311百万円（2024年12月末日現在）
従業員	73名（115名）（2024年12月末日現在） ※ 使用人員は就業員数であり、（ ）外数は臨時従業員の平均人数（1日8時間換算）であります。 ※ 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトを含んでおります。 ※ 従業員数は、海帆単体の人数を記載しております。
事業の内容	居酒屋を中心とした飲食店舗の企画開発及び運営 再生可能エネルギー資源を利用した発電所の開発、発電及び売電など
連結子会社	株式会社SSS 株式会社大三萬年堂LAB KR ENERGY JAPAN合同会社 KR エナジー1号合同会社 株式会社KaihanMedical

社是・企業理念

【社 是】 幸せな食文化の創造

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新しい食文化の醸成を目的とし社会に貢献し人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。

【経営理念】 常により良い商品と真心のサービスを通じ、 お客様に美味しさと満足を提供します。

常により良い商品……成長性、収益性、経済性、安全性を高めた商品
真心のサービス……お客様第一主義であること
美味しさと満足を提供・顧客、従業員ともの感動満足を共有

沿革

年	月	主要な事項
2003	5	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号に飲食店の経営を主な事業目的として、有限会社海帆(資本金3,000千円)を設立
	6	名古屋市守山区に第1号店として、「なつかし処昭和食堂 小幡店」を開店
2006	10	有限会社海帆を、株式会社海帆へ商号変更
2009	9	広告代理業務を内製化するために、有限会社アドハンを吸収合併
2010	8	昭和食堂を運営していた、「中京ニックス株式会社」から9店舗を一括取得
2012	3	株式会社魚帆を100%子会社化
2015	4	東京証券取引所マザーズ市場上場
2019	6	「立喰い焼肉 治郎丸」を事業譲受により取得
	12	「海鮮個室居酒屋 葵屋 浦和店」を事業譲受により取得
2020	1	株式会社魚帆を清算
2021	5	株式会社ファッツと「新時代」のフランチャイズ契約を締結
	7	三重県鈴鹿市、三重県津市、岐阜県大垣市、岐阜県岐阜市の既存店を「新時代」にリニューアルオープン
2022	4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、マザーズ市場からグロース市場へ移行
	7	株式会社SSSの株式を取得し子会社化
	10	再生可能エネルギー事業参入のため、当社子会社としてKR ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日商号変更)を設立
	12	当社子会社への第三者割当増資により、休眠会社であった株式会社エストを株式会社大三萬年堂LABへ商号変更
2023	3	匿名組合出資によるKRエナジー1号合同会社を子会社化
2024	9	株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの株式を取得し子会社化
	12	株式会社ワイデン(商号を株式会社Kaihan Medicalへ変更)を存続会社として株式会社BOBSを吸収合併

Ⅱ. 決算概況

第3四半期 トピックス

1

売上高の前年同期比は**14.2%増**、売上総利益の前年同期比は**20.1%増**

2

飲食事業に関しては引き続き好調であり、セグメントの黒字を維持

3

再生可能エネルギー事業に関しては、売電による売上高は引き続き増加

4

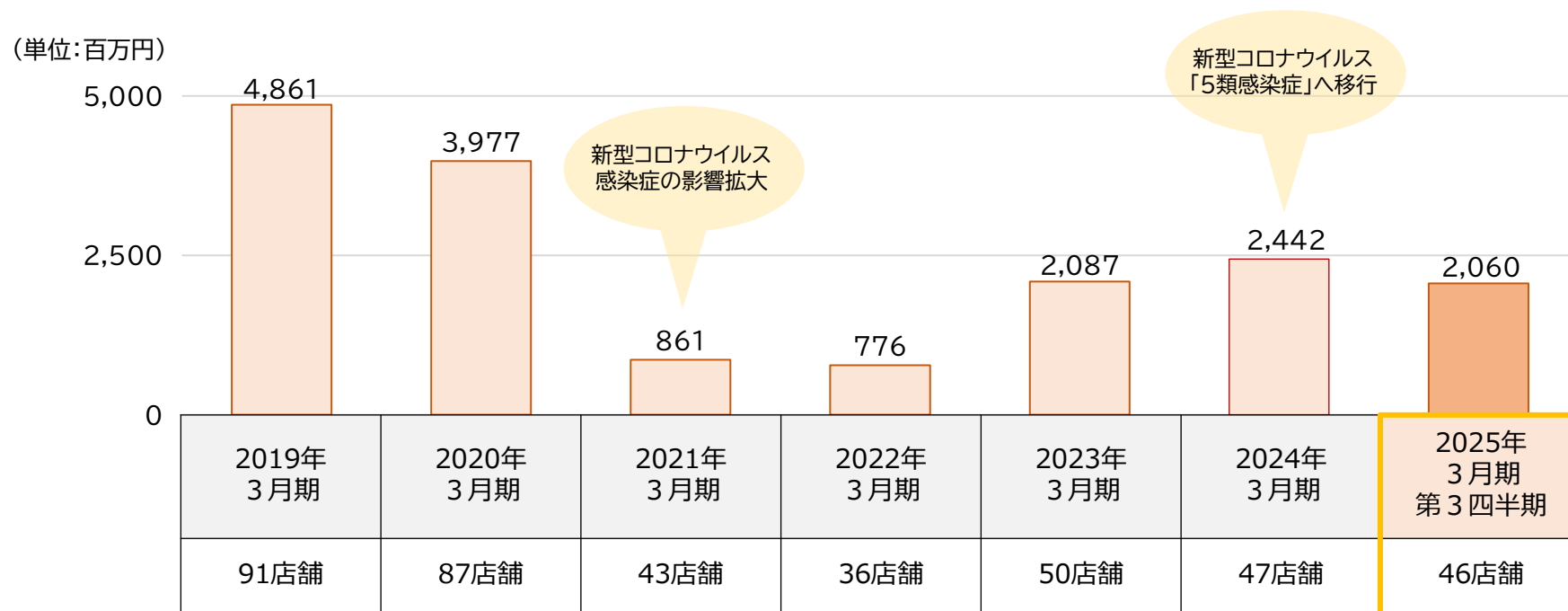
MS法人を取得したことでメディカル事業の売上と利益が増加

売上高の推移（連結）

当第3四半期の累計売上高は2,060百万円で着地し、前年同期比は14.2%増となっております。

飲食事業については大きな変動は無く売上高は安定しており、太陽光発電設備による売電の売上高が増加しております。

また、2024年9月に子会社となりました株式会社KaihanMedical(2024年9月商号変更)の売上高も影響しております。



※ 1、2019年3月期までは連結決算、2020年3月期から2022年3月期は単体決算となっております。

※ 2、2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

※ 3、2023年7月より再び連結決算に移行しております。

※ 4、店舗数はFC店舗も含みます。

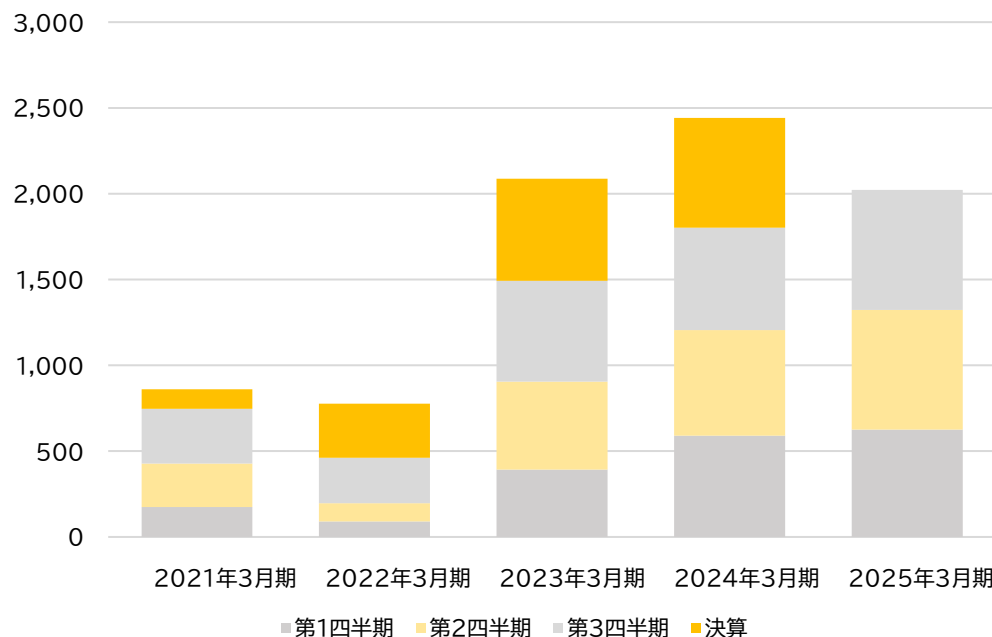
四半期ごとの売上高および営業利益の推移(連結)

2021年に発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食頻度は大幅に減少し、不採算店舗に関しては撤退を行ったことから店舗数の減少および店舗ごとの売上減少により、当社の売上高および業績は急激に悪化いたしました。

コロナ過から回復する中で、株式会社ファーズがフランチャイズオーナーとなる「新時代」への参入や、再生可能エネルギー事業を開始したことで徐々に売上高と営業利益は回復しております。

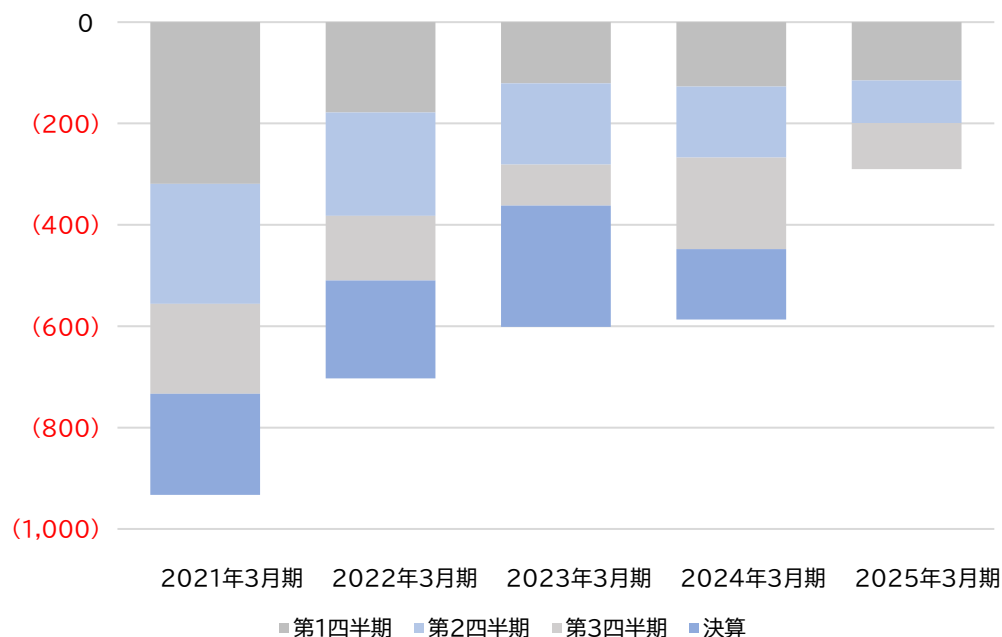
(単位:百万円)

売上高の推移



(単位:百万円)

営業利益の推移



損益計算書サマリー

飲食事業においては、店舗数の大きな増減は無く安定した収益構造となっております。

再生可能エネルギー事業においては、太陽光発電設備の増加により売上高が増加し、利益も増加しております。

また、新規事業の検討等により一部コストが増加しております。

単位：百万円

		2024/3期 第3四半期	2025/3期 第3四半期	
		連結	連結	増減
P / L 項目	売上高	1,803	2,060	257
	売上総利益	1,207	1,451	244
	営業損失(△)	△448	△290	158
	経常損失(△)	△446	△317	129
	税引前四半期純損失(△)	△489	△301	188
	親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△528	△399	129

※ 2022年3月期から「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますので、2022年3月期以降は、当該会計基準などを適用した後の数値となっております。

セグメント

飲食事業においては引き続き黒字を維持しており、売上高に関しては前年同期との変動はございません。

再生可能エネルギー事業においては、完成した太陽光発電設備の増加により売電売上が増加しております。また、コストの減少によりセグメント損失は前年同期と比較して141百万円改善しております。

また、2025年3月期第2四半期よりメディカル事業のセグメントを追加しており、当第3四半期時点において、メディカル事業は183百万円の売上高を計上しております。

<2025年3月期第3四半期 セグメント>

単位：百万円

	報告セグメント				その他	調整額	連結財務諸表計上額
	飲食事業	再生可能 エネルギー 事業	メディカル 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	1,831	45	183	2,060	—	—	2,060
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,831	45	183	2,060	—	—	2,060
セグメント利益又は損失（△）	129	△42	79	167	—	△457	△290

貸借対照表サマリー

2024年9月に株式会社BOBSおよび株式会社ワイデン(株式会社KaihanMedicalへ商号変更)の株式を簡易株式交換により取得したことで、固定資産の額が大幅に増加しております。

単位:百万円

		2023/3期末 連結	2024/3期 連結	2025/3期 第3四半期 連結
B / S 項目	総資産	2,660	3,616	4,896
	負債	2,369	2,726	3,094
	(うち借入総額)	1,180	1,724	2,130
	純資産	290	890	1,801
指標	自己資本比率	9.6%	24.6%	35.6%
	流動比率	88.1%	58.8%	55.5%
	現預金比率	23.6%	40.0%	31.3%

※ 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本(他人資本+自己資本) × 100 (%)
流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
現預金比率 = 現預金 ÷ 流動負債 × 100 (%)

飲食事業

自社業態

昭和食堂、えびすや



治郎丸



葵屋



FC加盟業態

新時代



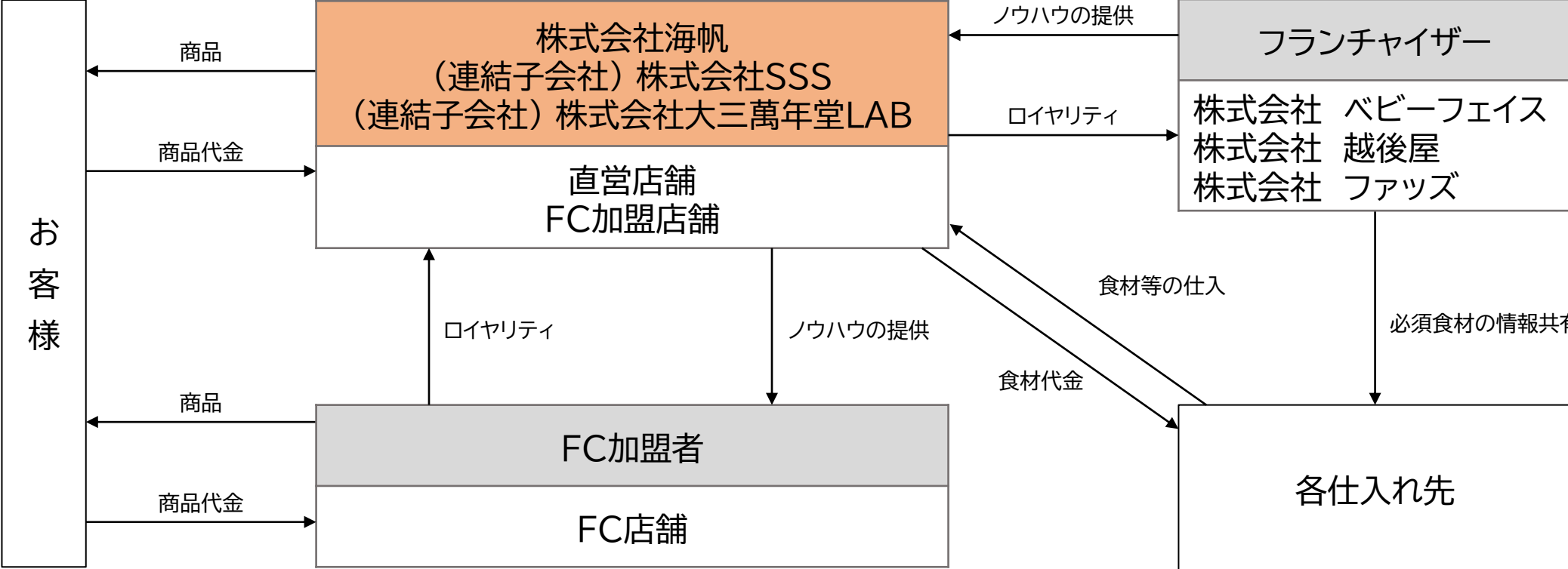
BABY FACE PLANET'S



しんぱち食堂



飲食事業のビジネスモデル



再生可能エネルギー事業

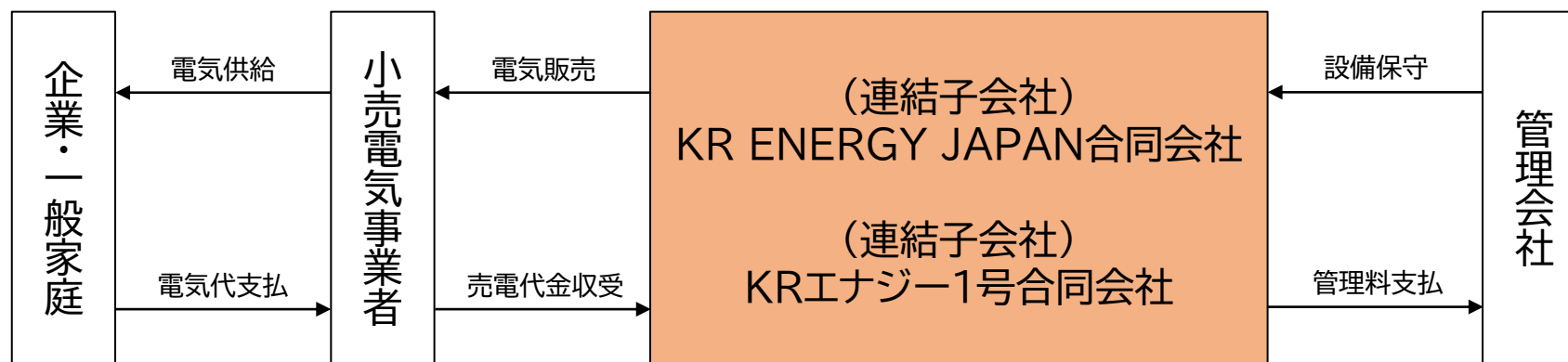
再生可能エネルギー事業の一つとして、太陽光発電設備の開発・建設に着手しております。

新型コロナウイルス感染症等の拡大によるパンデミック発生時においても、安定的な収益基盤を築くこと、また世界的な脱炭素社会にむけて少なからず貢献できると考え、事業を推進しております。

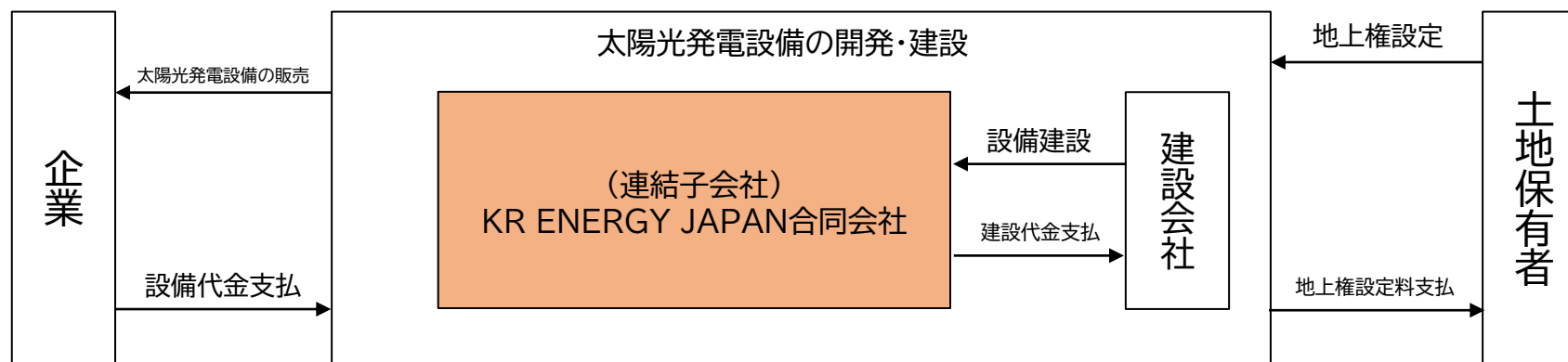


再生可能エネルギー事業のビジネスモデル

太陽光発電による電力の主な売買フロー



太陽光発電設備の開発・建設と販売



メディカル事業

2024年2月6日に開示しました「(開示事項の変更)固定資産の取得に関するお知らせ」のとおり、クリニックの開業からマーケティング、広告、プロモーションなどの運営に係る支援を行えるような事業の確立に向けて、現在は「医療法人社団修永会」が運営する美容クリニック(ZiMA CLINIC)の支援を行っております。

また、2024年9月に「医療法人大美会」のMS法人であった、株式会社BOBS及び株式会社ワイデンを簡易株式交換により子会社化しております。子会社化した2法人に関しましては、株式会社ワイデンを存続会社、株式会社BOBSを消滅会社とする吸収合併を行い、合併の手続きに加えて商号を株式会社KaihanMedicalへ変更しております。

また、2024年2月6日に開示しました「連結子会社による固定資産の取得に関するお知らせ」のとおり、東京都港区麻布十番の美容クリニックを株式会社KaihanMedicalが取得しております。

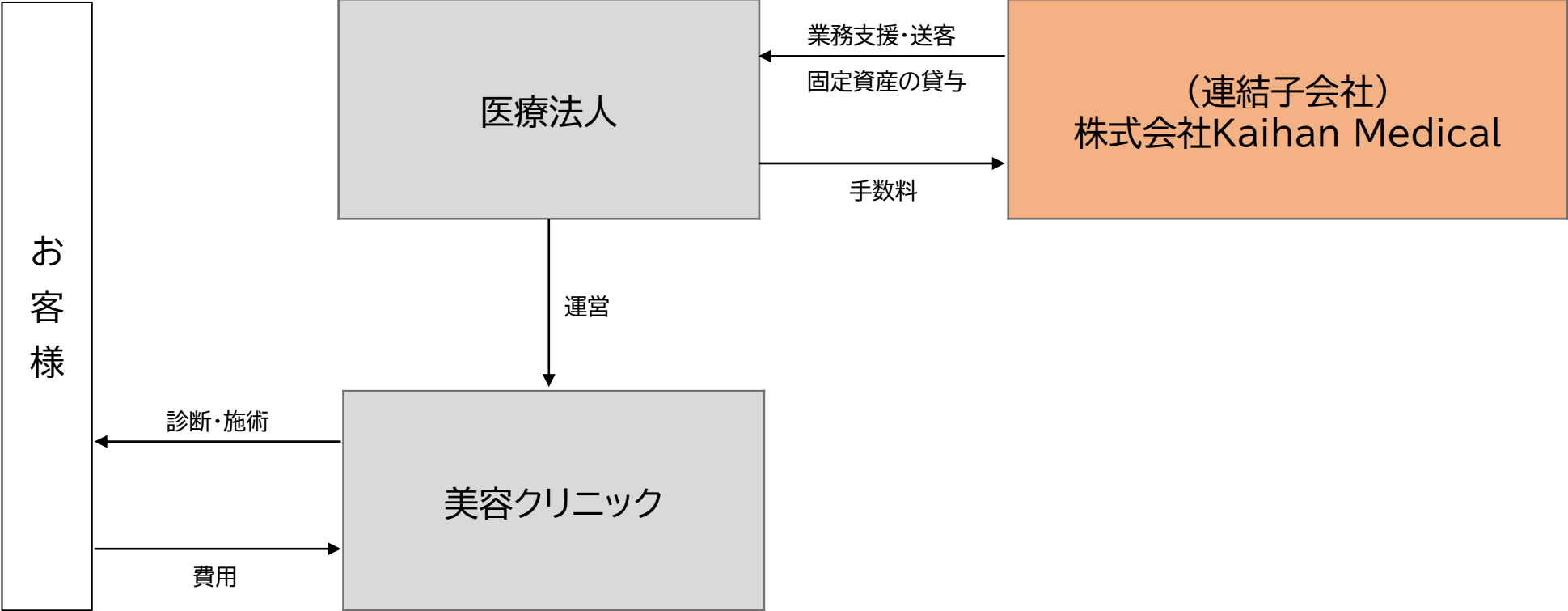
当該クリニックに関しましては、株式会社KaihanMedicalが業務に関する支援を行っている医療法人大美会に運営を委託致します。

今後は、医療法人とより深い信頼関係を構築しつつ、新たなクリニックの開院に関わる物件の取得や、運営支援業務の拡充を行い、更なる事業規模の拡大を目指してまいります。



写真：愛知県名古屋市 ZIMA CLINIC 受付

メディカル事業のビジネスモデル



Ⅲ. 計画の進捗状況

業績予想

第3四半期時点においては、2024年9月27日開示の「[連結業績予想の修正に関するお知らせ](#)」に記載されている業績予想の達成率は以下の通りです。なお、2025年2月14日開示の「2025年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」時点において、業績予想の修正はございません。

単位：百万円

	2023/3期 累計期間	2024/3期 累計期間	2025/3期 累計期間	2025/3期 第3四半期	達成率 (%)
	連結	連結	連結予想	連結	
売上高	2,087	2,442	3,550	2,060	58.0%
売上総利益	1,377	1,646	2,598	1,451	55.8%
営業損益	△601	△587	149	△290	—
経常損益	△633	△568	83	△317	—
当期純損益	△1,135	△712	20	△399	—

飲食事業

既存店舗においては引き続き好調であり、新たな販促活動への取り組みや人材採用、教育制度の整備、人事評価制度の再構築などを行い、今後の事業拡大にむけて基盤を固めてまいります。



新規出店に関しましては、再生可能エネルギー事業における太陽光発電設備の物件取得や開発、建設を優先しているため、急激な店舗数の拡大は予定しておりませんが、継続的に当社のニーズに合う物件取得に向けて動いておりますので、出店の際は別途適時開示にてお知らせしてまいります。

再生可能エネルギー事業

◆ 長期売電契約

安定的な長期売電契約に基づき、16.335MW-AC のNon-FIT低圧太陽光発電所のうち、既に5.99MW-AC (121区画)を取得建築中となっております。なお、121区画に対する進捗率は87.87%となっており、今後も区画取得を加速し、再生可能エネルギー事業を拡大してまいります。

新たに区画の取得などを行う際は、別途適時開示にてお知らせいたします。



再生可能エネルギー事業

◆ 太陽光発電所

Non-fit低圧太陽光発電所の建設は2025年3月期末までに、180件の物件取得の完了を目指し、全ての物件が売電開始するよう計画を進めております。

物件の取得方法や件数(容量含む)、時期の見直しにより、当初は3月末までに330件の取得を予定しておりましたが取得予定件数を減少しております。

2024年3月期 期末時点		
売電開始	26件	
物件取得	121件	取得済

2025年3月期 第3四半期末時点		
売電開始	80件	
物件取得	121件	取得済

2025年3月期 期末		
売電開始	90件	
物件取得	180件	予定



再生可能エネルギー事業

◆ ネパールにおける水力発電事業の検討

当社は、2024年2月29日に開示しました「ネパール共和国における水力発電事業(総発電量285.44メガワット)の包括合意契約締結に関するお知らせ」のとおり、ネパール共和国におけるベース電源の確保を目的とした水力発電所建設に係る事業を検討しております。

本件は、2024年10月末時点において、各水力発電設備の設置予定場所に関して、日本のデューディリジェンス専門家や現地の法律専門家等と共に、発電設備1物件ごとのデューディリジェンスを行っている段階であります。

また、デューディリジェンスの進行具合から、当社における事業計画やリスクなどの詳細を確認しております。

2024年2月29日	ネパール共和国における水力発電事業の包括合意契約を締結
2024年5月14日	ネパール大使館(東京都目黒区)にてネパール政府関係者と協議
2024年6月5日	ネパール現地にてネパール政府関係者および現地法人と発電所に関する協議
2024年8月4日	水力発電設備のデューディリジェンス開始に係る打ち合わせを開始



(左から当社代表取締役 守田、Basnet環境大臣、Giri氏(SURYA社)、取締役会長 國松)



(建設予定地)

メディカル事業

◆ 子会社の取得

当社は、2024年9月2日に開示いたしました「簡易株式交換による株式会社BOBS及び株式会社ワイデンの完全子会社化完了に関するお知らせ」のとおり、医療法人大美会のMS法人であった2法人を、簡易株式交換による子会社化を完了しました。

当該法人を取得したことにより、すでに取り組んでおります「医療法人社団修永会」が運営する美容クリニック(ZiMA CLINIC)の運営支援を含め、広告宣伝・予約管理・集客・経営管理など医療法人においての経営における主業務をより効果的にサポートできるように事業を確立してまいります。

また、当社が提供するサービスは更なる拡充を計画しており、今後は人材・医療機器販売・新規物件取得など開業向け支援サービスも検討しております。

今後、新たな契約等については、決定事実があり次第、適時開示にてお知らせしてまいります。



写真：愛知県名古屋市 ZiMA CLINIC 受付



写真：大阪府大阪市 大美会クリニック

— 本資料等に関する注意事項 —

本資料につきましては、当社グループが現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものが含まれており、これらとは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。従って、実際の業績が、本資料の予想とは大きく異なる可能性がございます。

各データや資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、あくまで当社をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

【お問合せ先】

株式会社海帆 IR担当

E-mail : ir@kaihan.co.jp